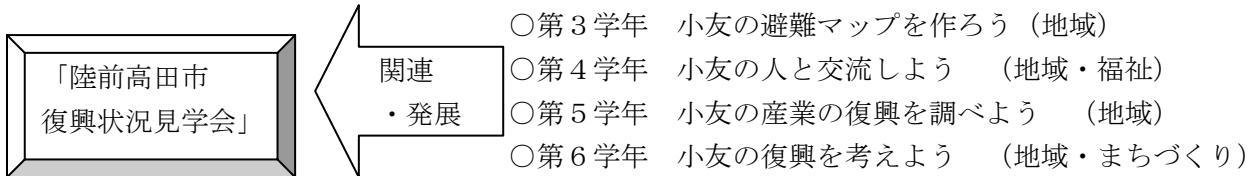


教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	<p>⑬【地域づくり】 郷土の美しい自然、伝統行事・郷土芸能、温かい人のつながりのある社会、安全なまちを願い、地域づくりにかかわる。</p> <p>⑭【復旧・復興へのあゆみ】 震災津波で被害を受けた交通網や産業、住宅やまちの復旧・復興の状況を調べ、安全で生き生きしたまちづくりにかかわる。</p>	総合的な学習の時間

【題材】 「陸前高田市の復興状況を見学しよう」



【対象】 3～6年児童 54名

【実践の概要】

＜第3学年＞

社会の学区探検と関連付けながら、地域の津波記念碑や津波に関するもの（半鐘など）を調べた。津波到達地点も歩きながら確認することで、地区内の避難路を考えるのに役立った。調べたことは大型マップとしてまとめ、3.11スマイル集会の中で全校児童の前で発表する予定である。



防災マップづくり

＜第4学年＞

保育所との交流やデイサービスセンターでのボランティア活動を行った。手作りの遊び道具を用意し、楽しい時間を過ごすように工夫した。単元のまとめでは交流活動から学んだことを発表しあい、地域の人々と触れあいが共助のベースとなることに気づくことができた。



手作り輪投げで楽しいひと時

＜第5学年＞

地域の産業の復興状況を調べるため、水産業、建設業、商業、支援施設への取材活動を行った。震災前、震災中、震災後の様子を聞き取り、復興に携わってきた方々の姿から学んだことやこれからの小友について自分の考えを「個人レポート」にまとめ交流しあった。



水揚げしたての養殖カキ

＜第6学年＞

震災後3年間の小友町を振り返りながらこれからの町づくりをテーマに取り組んだ。復興に関わる人々からの聞き取りをもとに一人ひとりが将来の小友町プランを作成し、学級内で交流した。代表者は、児童朝会で発表するとともに市教育委員会が主催する「市長と語る会」で発表した。



県知事と農事組合意見交換会に参加

【授業の展開】「陸前高田市の復興状況を見学しよう」の展開

＜陸前高田市復興計画説明会＞

陸前高田市役所にて復興対策局職員川村さんから復興計画の概略について説明をしていただいた。



＜復興作業現場見学＞

- ① 長部地区上長部団地見学（完成地区）
- ② 長部地区月山団地工事見学（工事中）
- ③ 気仙町ベルトコンベア破砕機現場見学



＜復興関連現場見学＞

- ⑤ 復興まちづくり情報館見学
- ⑥ 復興災害住宅（下和野住宅）見学
- ⑦ 市立博物館見学（復旧作業見学）*5・6年生のみ



復興住宅から見える高田町跡

＜振り返り＞

活動を振り返り、感想を交流する。

【各学年の児童の感想】 ※文章は一部を抜粋したものもある。

「防災マップ」を作って

わかったこと【3年生】
衣地のつなみのとうたつ地点にはさくらラインさんが植えたカワヅザクラが植えてありました。ずいぶん高い所までつなみがきたことがわかります。

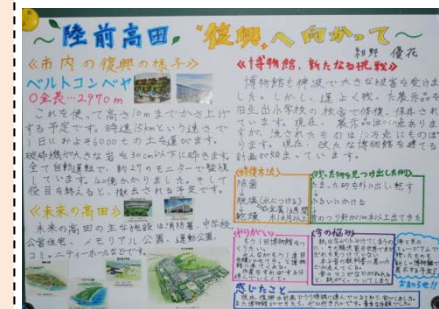
「デイサービスセンター訪問」の感想

最初はあまり喜んでもらえないかと思っていましたが、お年寄りの方に喜んでもらえて安心しました。いっしょに遊んで元気になってもらえてよかったです。
【4年生】

「陸前高田の復興についての意見文」【5年生】

（中略）今、私たちにできることは意見をたくさん言うことです。たくさんの意見が未来の陸前高田につながっていきます。未来の町は自分たちで作っていきたいです。

「博物館のみなさんへ」
（中略）文化財を残したいという気持ちが強く伝わりました。そして、皆さんが持っている「やりがい」がとても素晴らしいものでした。
【6年生】



【まとめ】 ○…成果 △…課題

- 地域教材の学習を進めることで、地域の復興の様子について詳しく理解することができた。また、全校で取り組んでいる防災教育とセットにすることで復興教育をより具体的・主体的な活動にすることができた。保護者と一緒に学ぶ防災教育を実施できたことも成果である。
- △ 被災地であり、常に心のケア配慮しながら授業をする必要がある。被災地域での復興教育は、学校と地域が一体となって進めていく必要性を強く感じる。